

「子どもたちの福祉学習」をサポートするお薦め情報

「子ども向けの福祉について書かれた資料がほしい」という学校の先生からの問い合わせが増えています。子どもたちからも「福祉について調べたいんですが」という質問がVセンターに寄せられています。

今回は、そんな先生や子どもたちをサポートする「情報」を紹介します。

ここではまず、子どもたちにお薦めの「本・ホームページ・ビデオ」をまとめてみました。ぜひ「読んで・探して・見て」、おおいに参考にしてみてください。

定価/サイズ・ページ数/著者または編集/発行および問い合わせ先

ボランティア活動について知りたい

ボランティアみんな知ってる? ～ボランティア活動の基礎知識(ジュニア版)～

500円(税別)A5判・72ページ/全国社会福祉協議会・全国ボランティア活動振興センター/全国社会福祉協議会・出版部
TEL.03-3581-9511/FAX.03-3581-4666
Eメール zenshakyo-s@msc.biglobe.ne.jp



小・中学生を対象に、V活動の基礎知識をわかりやすく解説した本書は、「V活動ってどんな活動があるの?」「どんな活動があるの?」といった子どもたちから寄せられる具体的な疑問に対してQ&Aで回答しているほか、巻末には主なV活動推進機関の連絡先も掲載している。「総合的な学習の時間」や「調べ学習」の子どもたち向けのテキストとして活用できる一冊。

中学生・高校生のための「ボランティアガイド」

1,800円(税別)A5判・160ページ/田中ひろし(監修)
こどもくらぶ(編・著):TEL.042-575-8888/
同友館 TEL.043-3813-3966



国際・環境・地域・文化・教育・福祉における様々な団体の紹介リストを中心に、全国各地の中・高校生の実践事例や、身近なところから始めるための具体的な取り組みを紹介。「どんな活動があるの?」「活動を始めたいけど、どんな団体があるの?」などと迷っている中・高校生に役立つやさしいガイドブック。

ココロの絵本(3)「ボランティア手をつないで」

1,500円(税別)A5判・62ページ/日本作文の会+子ども委員会/
須賀りず(絵)大月書店 TEL.03-3813-4651



小学生～高校生たちの詩や作文をまとめた絵本。V活動をしてみて感じたこと、お年寄りや障害のある人とのふれあいを通して気づいたことなど、子どもたちの想いが飾りのない言葉で綴られている。子どもだけでなく、親子で一緒に読んでみたい1冊。

福祉について学んでみよう

バリアフリーブック 身体の不自由な人の生活を知る本 「ドラえもん車いすの本」

1,323円(税込)B5判・112ページ(財)共用品推進機構/
小学館 TEL.03-3230-5739



小・中学生向けに、車いす利用者の生活やバリアフリーについて考えさせられる本。車いすについての解説や介助の仕方を、写真やイラストを交えて紹介しているほか、ドラえもんたちが車いすについて学んでいくストーリーを描いたマンガ「空飛ぶ車いす」が収録されていて、親しみやすい内容となっている。

バリアフリー いっしょに生きていくために(5) 「ともにゆたかに生きるために」

2,500円(税別)A4変形判・40ページ/
(財)共用品推進機構(監修)ポプラ社 TEL.03-3357-2213



バリアフリーについて考える小学校中・高学年向けシリーズ第5巻。「障害のある人に町で出会ったら、どうやって声をかけたいの?」という疑問に当事者が答えたり、仕事やスポーツなどを通して「障害のある人・ない人がともに生きている」実際の現場を、写真やイラストを交えて紹介。「バリアフリーとは何か」を具体的にわかりやすく理解できる1冊。

お年よりを理解する本(4) 「わたしたちができるボランティア」

3,000円(税込)B5判・63ページ/樋口恵子(著)
樋口恵子・岡本祐三(監修)岩崎書店 TEL.03-3812-9131



「むかしから、子どもたちとお年よりはなかよでした」という書き出しで始まる本書は、子どもたちとお年寄りとの交流やV活動事例の紹介を通して、私たちはお年寄りとのような関係を築いていくべきか、どんなことができるのか、V活動が高齢社会に果たす役割とは、についてやさしく語りかけている。「お年寄り=助けてあげる」ではなく、お年寄りと共に生きていくことに気づかされる1冊。

インターネットを活用してみよう!

GO GOこどもボランティア

http://www.shakyo.or.jp/kodomo/

小学校高学年～中学生を対象に、全社協・全国ボランティア活動振興センターが作成した福祉・V学習のホームページ。V活動に参加する際の留意点や、用語解説なども盛り込んだV活動の基礎知識、全国で実際に子どもたちが参加している様々な福祉教育・V活動のプログラム事例を紹介。また、地域別や活動の内容、活動の日時、誰と活動しているか、などのカテゴリー別でも検索できるようになっている。



赤い羽根共同募金って何?

http://www.akaihane.or.jp/children/index.html



赤い羽根共同募金の子ども向けサイト。「なぜ赤い羽根なの?」「なんの羽を使っているの?」などの素朴な疑問に答えるQ&Aのほか、募金の歴史や協力方法、集まった募金はどう活用されているのかなど、赤い

羽根募金に関する情報が、小・中学生に理解しやすい内容で掲載されている。

NHKボランティアネット

http://www.nhk.or.jp/nhkvnet/top.html



V募集、V活動紹介、イベント・講習会など、全国のV団体から寄せられたV情報をはじめ、ボランティアの基礎知識や分野別の詳細情報を豊富に取りそろえたライブラリーも充実。また、「国際協力ボランティア」のサイト

内には、東南アジア諸国の「あいさつ」をクイズ形式で楽しみながら学習できる子ども向けサイト「世界のあいさつクイズ」も掲載されている。

あなたの地域でもこんな本が出ています!

都道府県社協Vセンターでも独自に本・冊子を作成しています。興味のある方は、ぜひ問い合わせしてみてください。

チェック! チェック! あなたのボランティア活動!

B5判ヨコ・14ページ/埼玉県社会福祉協議会(埼玉県ボランティアセンター)TEL.048-822-1192

「V活動を始めてみたけれど、どうもうまくいかない」という方向けのチェックリストで、自分の活動を振り返りながら、V活動についてあらためて理解できる小冊子。

OSAKAジュニアボランティア手帳(改訂版)

B5判・31ページ/大阪府社会福祉協議会・大阪府ボランティアセンター TEL.06-6762-9631

大阪府内のV活動事例をはじめ、自分に合ったV活動を探す診断テストや活動分野の紹介など、中・高校生がV活動を始める際の参考に役立つ便利手帳。

障害を知る本!「障害と私たちの社会」

1,800円(税別)A4変形判・35ページ/茂木俊彦(監修)
稲沢潤子(文)オノピン+田村孝(絵)大月書店 TEL.03-3813-4651



障害とはなにか、どうして障害になるのか、障害者の活躍や障害に対する社会の取り組みなど、障害について知っておきたい知識や情報が写真や図解を交えてわかりやすく解説されている。子どもが「障害のことを考えてみる」きっかけとなるばかりでなく、大人にとっても「あらためて障害を理解する」ことに役立つ内容となっている。

小学校低学年向け福祉教育ビデオ 「君ならできるかな?」

たすけあいて、な～に?」
VHS・10分/山口県社会福祉協議会
TEL.083-922-7786

となり町に住むおばあちゃんのもとへお使いに行くタローは道中、車いすに乗る人や迷子の子供、ポイ捨てされた空き缶などに遭遇するが…。主人公「タロー」を通して、「助け合いとは何か」について視聴者と一緒に考えるほのぼのタッチのビデオ紙芝居。

みんなの福祉読本 「ちきゅうのなかま」

A4判・58ページ/長崎県・社会福祉課、
長崎県社会福祉協議会 TEL.095-827-4872

県内の全小学5年生向けに作成された福祉読本。障害・高齢者・V活動に関する子どもたちの作文に、写真や図解を交えた解説文を添えて、それぞれのテーマについて子どもたちと先生と一緒に考えていく内容となっている。

ともに生きる

B5判・40ページ/宮崎県社会福祉協議会・宮崎県ボランティアセンター TEL.0985-25-0539

福祉の心を育むことを目的に、家庭や友だちとのふれあい、幼児・お年寄り・障害のある人たちの関わり、福祉のまちづくり、V活動などについて学びながら、「ともに生きるとは何か」を考えていく小学生向け小冊子。中学生向けのものも近々発行される。

福祉学習推進者向け ステップアップ情報

ここでは、福祉学習を推進する人向けに、福祉教育やグループワークを効果的に進めるための関連図書を紹介しします。また、今後、実施予定の福祉教育に関する研修会もお知らせしています。ぜひご活用ください。

ワンランクアップの福祉教育をめざして

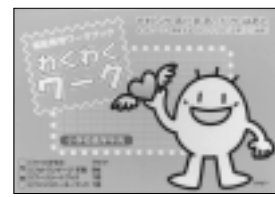
福祉教育ワークブック～福祉教育プログラム研究委員会 平成10年度研究報告書



600円(頒価/送料別)/A4判・125ページ/
全社協・全国ボランティア活動振興センター/
FAX.03-3581-7858(申込はファックスで)
「福祉ってなに?」「福祉教育や体験学習などを通して、子どもたちに何を学んでもらいたいのか」について、「立ち止まって考えてもらう」ことを目的に作成されたワークブック。先生、社協職員等が協働でプログラムを企画・開発する際の参考資料、生徒・地域住民を対象とした学習素材などに活用できる一冊。

福祉教育ワークブック「わくわくワーク」

2,000円(税込)横浜市社会福祉協議会 TEL.045-201-2090



内容/クイズかるた・フォトランゲージ写真・ワークシートブック・ファシリテーターブック

小学校高学年を対象に、福祉、環境、国際など広い視点で考える力を伸ばせるよう工夫されたグループワーク用の教材。「総合的な学習の時間」での実践や社協での福祉教育事業など、地域の子どもたちを対象とした様々な活動に幅広く活用できるようになっている。

県社協も力強い味方です

CSV市民学習部シリーズ～ コミュニティでの実践的な学習を通して 「市民であること」を探究する

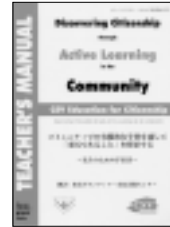
先生のための手引き書 / 生徒のためのガイドブック

600円(税込)/A4判・83ページ

翻訳・発行/東京ボランティア・市民活動センター

TEL.03-3235-1171/FAX.03-3235-0050

体験学習の先達である英国・米国の機関が協働で作成した本シリーズは、体験学習を通して、「市民であること」を探究していくための実践マニュアル。子どもたちの考えや知識、技術などを開発できるよう、数々の実践事例を交えて系統的に解説された先生向けの手引き書。および、自分の感じたこと・考えたことを子どもたちが記入できるなど、少人数からクラス単位までのグループワークに活用できる生徒用のガイドブックも収録。



「総合的な学習」が「創造的な学習」に変わる!

～埼玉県福祉教育・ボランティア学習研究会第二期
(福祉教育の質を高める研究)報告書～

A4判・137ページ/埼玉県社会福祉協議会(埼玉県ボランティアセンター)
TEL.048-822-1192

「ともに生きる」という視点から、同社協が進めてきた福祉教育の研究をまとめた報告書。ある小学校をモデル校として、1年間にわたる「総合的な学習の時間」での授業計画、実践事例、学習成果などを詳細にレポート。

また、「福祉教育の質を高めるためには何が必要か」をテーマに、研究委員たちの分析・考察を紹介するとともに、2年間の研究成果がまとめられている。「総合的な学習の時間」などの実践活動の参考資料として活用できる1冊。



「福祉教育」推進を図るみなさんを応援します!! ～福祉教育関係研修実施のご案内～

全社協・全国ボランティア活動振興センターでは、福祉教育の推進を図るため、今年度下記の研修を実施します。ぜひご参加ください。

各研修実施のおおよそ1か月前には、都道府県・指定都市社協Vセンターにご案内をお送りします。詳細・申込みについては本センター、または都道府県・指定都市社協Vセンターにお問い合わせください。

福祉学習スキルアップ研修・モデル研修会

(埼玉県社協と共催予定)

日 時 平成15年1月28日(火)～29日(水)

開催地 彩の国すこやかプラザ(埼玉県さいたま市)

参加対象

・主に関東甲信越ブロックの都県・指定都市の福祉教育実践を推進する方々

・都道府県・指定都市社協の福祉学習担当職員の方

(参加にあたっては、都道府県・指定都市社協と調整をいただく予定です)

内 容

福祉教育実践を進めるうえで今後重要となる「参加体験型」の福祉教育実践手法について学びます。

全国ボランティア学習セミナー

日 時 平成15年2月12日(水)

開催地 全社協・灘尾ホール(東京都千代田区)

参加対象

・学校、社会福祉施設、V団体・NPO等でV学習の推進を図る方々

・都道府県・市区町村社協のVコーディネーター

内 容

地域を基盤に進めるボランティア活動の研究・実践を紹介するとともに、V学習の推進方策について学びます。翌日からの「福祉教育セミナー」とあわせて参加をご検討ください。特に初任者の先生方を中心に開催します。

全国福祉教育セミナー

日 時 平成15年2月13日(木)～14日(金)

開催地 全社協・灘尾ホール(東京都千代田区)

参加対象

・学校、社会福祉施設、V団体・NPO、企業・労働組合等で福祉教育を担当する方々

・都道府県・市区町村社協で福祉教育を担当する職員

・教育委員会・行政等で福祉教育を担当する方々、福祉教育推進・支援の関係者

内 容

福祉教育を推進するための学習プログラム企画・推進の視点や、推進のための体制づくりについて、シンポジウム、課題ごとの分科会により学びます。

日本福祉教育・ボランティア学習学会 「第8回大会」が開催されます!

日本福祉教育・ボランティア学習学会(山崎美貴子会長)では、これからの社会福祉と教育のあり方を見据えた大会を毎年1回開催しています。今年で8回目を迎え、「市民参画型社会を拓く福祉教育・ボランティア学習～新しい公共の創造～」をテーマに、福祉教育・V学習の実践事例を相互に交流し、新しい市民社会を創造する理論と方法について模索します。

日時 平成14年11月30日(土)・12月1日(日)

開催地 県立広島女子大学(TEL.082-251-5178)

プログラム

第1日目 基調報告、記念講演、課題別研究、懇親会ほか

第2日目 自由研究発表・実践報告・公開講座、シンポジウムほか

参加費 会員:7,000円/非会員:8,000円/非会員の学生:3,000円

申込締切 10月18日(金)

大会事務局

広島市社会福祉協議会・福祉部 広島市ボランティア情報センター
〒730-0052 広島市中区千田町1-9-43 広島市社会福祉センター内
TEL.082-544-3399(直通)082-243-0051(代表)FAX.082-544-3404
Eメール voinfo@shakyohiroshima-city.or.jp